



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年1月18日（水）第46号



【目次】

- 1．農林水産省 【募集：基調講演】日本在住の食文化のエキスパートと和食文化の魅力を探る
- 2．和食会議 シンポジウム 和食と健康 2023 初春 「お米」の魅力再発見など
- 3．中央味噌研究所 第63回全国味噌鑑評会の農林水産大臣賞受賞者の決定
- 4．農林水産省 令和4年度 SAVOR JAPAN 全国大会オンラインセミナーの御案内

1．農林水産省 【募集：基調講演】日本在住の食文化のエキスパートと和食文化の魅力を探る

今年は、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年を迎えます。

この機会に、日本在住の食文化のエキスパートの方々との交流を通じて、一緒に和食文化の魅力を探り、継承活動の未来や今後の展望について考えてみませんか。

日本文化研究者、日本食研究家やフードジャーナリスト等、海外と日本の食文化に精通している専門家による基調講演後に、農林水産省が昨年度に作成した和食文化を次世代に伝えていくための継承ツール学習教材を活用したモデル授業など、本年度実施した和食文化継承活動の事例発表会を併せて行います。

・日時：令和5年1月28日（土）13：00～@オンライン

・参加費：無料

・出演者：（パネリスト：エバレット・ケネディ・ブラウン/ナンシー・シン

グルトン・八須/ピョン・ハイバーク、サポーター：東四柳祥子、

パネリスト兼ファシリテーター：大安喜一）

（株式会社パソナグループ Web）

イベントの詳細及び申込はこちらから↓

<https://www.pasonagroup.co.jp/news/index112.html?itemid=4557&dispmid=7>

=====

2. 和食会議 シンポジウム 和食と健康 2023 初春 「お米」の魅力再発見など

=====

・開催日時 令和5年2月20日(月) 13:00～15:35(開場 12:30)

・会場 千代田区神田練堀町3 富士ソフト アキバプラザ6階

セミナールーム1(定員 60名)

Zoom ウェビナー同時配信(定員 500名)

・参加費 無料

・締切日 令和5年2月15日(水) 但し定員で締め切り

・プログラム

・研究発表 13:10～14:00

「日本人の食生活と米～米を巡る最近の社会・研究動向～」

講師：大坪 研一(新潟薬科大学 応用生命科学部特任教授)

概要：米を巡る最近の社会情勢と技術開発例を紹介し、主食である米が、日本の食文化形成に貢献し、様々な米加工品が食生活に役立っていることを、研究例も含めて解説します。

・研究発表 14:00～14:50

「お米の新しい機能～タンパク質に潜む健康機能性～」

講師：門脇 基二(新潟工科大学 副学長)

概要：世界的に植物性タンパク質への大きな注目が集まる中、白米タンパク質や米糠タンパク質の中に健康機能性、脂質代謝・糖尿病・腎疾患・骨代謝などへの改善機能が潜んでいることを紹介します。

・発表者によるパネルディスカッション 15:00～15:30

コーディネータ：的場 輝佳

一般社団法人和食文化国民会議代表理調査・研究部会

副部会長(奈良女子大学名誉教授)

(一般社団法人和食文化国民会議 Web)

シンポジウムの概要と申込みはこちらから↓

<https://washokujapan.jp/symposium/>

=====

3．中央味噌研究所 第63回全国味噌鑑評会の農林水産大臣賞受賞者の決定

=====

一般社団法人中央味噌研究所では、毎年その年の“日本一の味噌”（農林水産大臣賞）を決定する「鑑評会」を行っており、今年の審査会を実施いたしました。

この「鑑評会」は、味噌の品質と技術の向上を目指すことを目的に始めたもので、今年で63回目となり、今回も個性あふれる全国の力作味噌が出品されました。

審査会では、全国の味噌の官能に優れた技術者や研究者で構成する審査員が、色、香り、味、組成のそれぞれについて総合的に採点し、農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房長賞、他各賞を決定いたしました。

・農林水産大臣賞 6点

・農林水産省大臣官房長賞 15点

うち東北関係 2点

蔵王雪国 甘口 山県県 株式会社紅谷醸造場

特製仙台味噌 宮城県 川敬醸造株式会社

・全国味噌工業協同組合連合会会長賞 他

うち東北関係 12点

（一般社団法人中央味噌研究所 Web）

受賞者名簿はこちらから↓

https://www.miso.jp/chumiken_kanpyokai.html

=====

4．農林水産省 令和4年度 SAVOR JAPAN 全国大会オンラインセミナーの御案内

=====

農林水産省では、地域の食・食文化の魅力でインバウンドの回復を図っていくため、有識者からのアドバイスを得ながら意見交換や事例の共有を行うとともに、SAVOR JAPAN 認定地域間の連携を深め、地域へのインバウンド誘客の促進を図っています。

インバウンド誘客に取り組む地域の方々の参考としていただくため、オンラインで全国大会を公開します。

・開催日時 令和5年1月26日（木） 13：30～16：35（予定）

- ・参加費 無料
- ・申込締切 令和5年1月23日(月)
- ・参加方法 オンライン参加
- ・申込方法 下記フォームからお申し込み下さい。

有識者による講演のほか、

SAVOR JAPAN 認定地域の

一関市・平泉町(岩手県) 株式会社イーハトーブ東北 代表取締役 松本 氏
から事例発表があります。

内容等は予告なく変更となる場合があります。

(農林水産省 HP)

オンラインセミナーの詳細はこちらから(農林水産省 会議等の開催情報) ↓

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html>

傍聴の申込みはこちらから(外部リンク) ↓

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_J1aykUguSvK4VRDbgpn5sw

(農林水産省 HP)

参考: SAVOR JAPAN の詳細はこちらから ↓

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/savorjp/index.html>

~~~~~

- 東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

問い合わせ先: 東北地域の和食文化ネットワーク事務局

東北農政局経営・事業支援部地域食品・連携課

担当: 佐藤(成)、小田桐

T E L : 022-221-6403 (ダイヤルイン)

F A X : 022-722-7378

メールアドレス: [keisyonw-tohoku@maff.go.jp](mailto:keisyonw-tohoku@maff.go.jp)

~~~~~

< 農林水産省の Web サイト (和食文化ネットワーク) >

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

~~~~~

東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。  
配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

~~~~~